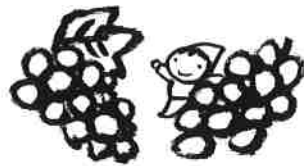




けいせん

2018.9.21



残暑も毎日にやわらぎ秋の言われを感じます。道ばたに咲いている彼岸花やオーイオーいととんでいるトンボを見たり、夕暮れから夜に虫のなき声を聞いたりとすると、なんだか(まと)ひと息。自然の力にいやされる瞬間です。

先日、久しぶりに長男の保育園時代の友人たち、子ども15名・大人18名で集まっておりました。小学校は違う子も多く、はじめのうちはぎこちない様子でしたが、日時明がたつとともに素直もゆるんでいきます。以前はみんな遊んでいたのに男女別れて遊ぶようになってきているのも成長です。バタバタと過ぎていく日々の中、こうして子どもの成長を喜ぶながらゆっくりと語り合う時間は大人にとってもとても貴重で楽しいひとときです。その時その時のわが子の成長も課題も知っていてくれる子育ての仲間だからこそ話せることもたくさんあり、話は尽きません。

保育園の時「子どもたちも友だち同士で助け合って過しているんだから大人も助けてと言って、助け合っていきましょう」とみんなに言ってくれていたAさん。卒園後に集まった時、泣いてぐちゃぐちゃして車輪の中に入れてあった長男の姿を見て「〇〇も今、いっしょうけんめいがんばっているのね。もうすぐお母さんが仕事に復帰することもなんとなくわかっていて不安なんよね」と声をかけてくれた言葉に、その時はもちろん、その後もどれだけ助けられたいとか。気になることばかりに目が向き悩んでしまう時に、客観的に見てアドバイスをくれる存在はありがたいものです。

2学期が始まり、それぞれのクラスで少しずつ運動会への取組みをすすめています。子どもたちも一人ひとり自分の個性を出しながら友だちと協力して準備をしています。毎日の送迎や様々な交わりの場面で出会うお母さん同士。この出会いはとても大切です。小学校以上になると、保護者が交わりを深める機会は少なくなります。今日、幼稚園の顔を合わせるお母さんが「助けて」と言い合える仲間でありますように……。子育てはひとりきりではできません。まわりのお母さんたちも、ねたな保育者も、いつもお手伝いします。